

【令和 7 年度】 教育部の運営方針に基づく個別事業

事業名	学校園規模適正化事業		
事業概要	「大阪狭山市立学校園の適正規模・適正配置に関する基本方針」に基づき、それぞれの課題解消に取り組む優先順位や具体的な対応策の内容、実施時期について具体的に示す実施方針を策定し、本市の未来を支える子どもたちにとって安全でより良い教育・保育環境の充実を図ります。		
担当	教育政策グループ	予算額	—

事業名	小中学校給食費無償化事業		
事業概要	教育に要する費用負担の軽減を図るため、これまで段階的に進めてきた学校給食費の無償化について、年間を通し完全無償化します。		
担当	教育政策グループ	予算額	212,921 千円

事業名	小中学校給食費高騰対策事業		
事業概要	現在の給食で提供している量や質を維持していくため、食材価格の高騰へのさらなる対策を講じます。		
担当	教育政策グループ	予算額	33,000 千円

事業名	第七小学校施設環境改善事業		
事業概要	学級編成基準の一律引き下げによる段階的な 3 5 人学級への移行、また住宅開発に伴う児童数の増加により、普通教室の不足が今後見込まれることから、教室を増設するとともに、必要となる通信環境ネットワーク等を整備します。		
担当	教育政策グループ、教育指導グループ	予算額	215,890 千円

事業名	南第一小学校施設改修事業		
事業概要	南第一小学校は設立から 50 年以上経過し、設備が経年劣化しています。屋内消火栓ポンプと放送設備が故障していることから、改修工事を行います。		
担当	教育政策グループ	予算額	8,589 千円

事業名	北小学校施設改修事業		
事業概要	北小学校における設備の定期検査において、高圧ケーブルの劣化が発見されたため、改修工事を行います。		
担当	教育政策グループ	予算額	3,208 千円

事業名	南中学校施設改修事業		
事業概要	南中学校の屋内消火栓ポンプと受信機をつなぐ警報線の設置が必要であることが判明したため、警報線設置工事を行います。		
担当	教育政策グループ	予算額	561 千円

事業名	公団狭山住宅通学路舗装補修事業		
事業概要	南第一小学校、南第三小学校、こども園の児童の通学・通園路として供してもらっている公団狭山住宅内の通路において、長年の使用により舗装の割れなどの傷みが顕著であるため補修を行います。		
担当	教育政策グループ	予算額	3,229 千円

事業名	狭山中学校改築事業		
事業概要	大阪狭山市立狭山中学校の狭隘な運動場や施設の老朽化等、重要課題を解消し、生徒にとって望ましい教育環境を整備するため、校舎等の建替基本計画を策定する。		
担当	教育政策グループ	予算額	14,135 千円

事業名	英語教育推進事業		
事業概要	英語を使う機会の確保と、英語能力の定着を図るため、中学 2・3 年生を対象に、英語運用能力を技能別に測定するスコア型英語能力判定テストを実施し、一人ひとりの学習の伸びや課題の把握に取り組みます。 また、課題となっているスピーキング力の向上を図るため、大阪府が提供する英語学習ツールを、引き続き全小中学校で活用します。		
担当	教育指導グループ	予算額	8,201 千円

事業名	コミュニティ・スクール推進事業		
事業概要	令和7年度から中学校区単位で「学校運営協議会」を設置するとともに、地域未来の学習や学校支援活動に関する調整などを担う、地域学校協働活動推進員を各中学校区に常時配置します。		
担当	教育指導グループ、生涯学習グループ	予算額	13,585 千円

事業名	学力向上施策事業		
事業概要	学習内容がより複雑化・高度化し、思考力や表現力を養う学習が増えてくる小学4年生を対象に、学習状況を素早く把握し、その結果を効果的な指導に活かすことができる、C B T 調査（Computer Based Testing = コンピューターを活用した学力調査）を新たに導入します。		
担当	教育指導グループ	予算額	426 千円

事業名	通級指導推進事業		
事業概要	子どもの自立をめざし、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援が行えるよう、各小中学校の状況等を踏まえ、通級指導教室を充実します。		
担当	教育指導グループ	予算額	766 千円

事業名	小規模特認校事業		
事業概要	南第三小学校をI C T教育を先導的に進める小規模特認校として位置づけ、AIを用いたデジタルドリルを導入するなど、I C Tを活用した授業の展開や、少人数でのきめ細やかな指導に取り組めます。		
担当	教育指導グループ	予算額	297 千円

事業名	G I G Aスクール構想事業（端末更新）		
事業概要	全児童・生徒が使用している1人1台のタブレット端末について、導入から5年目を迎え、経年劣化による不具合事象が頻発している状況に鑑み、各ソフトのライセンスやO S（Operating System）のサポート期間が終了するタイミングを見計らい、大阪府教育庁が主導する共同調達により一斉更新します。		
担当	教育指導グループ	予算額	290,729 千円

事業名	水泳委託実証事業		
事業概要	小学校の水泳授業においては、施設の老朽化に伴う維持・管理コストや教員の負担が課題となっていることを踏まえ、インストラクターによる専門的指導により、泳力向上が期待できる民間スイミングスクールを活用した水泳授業を、西小学校において試行実施します。		
担当	教育指導グループ	予算額	2,825 千円

事業名	部活動地域展開事業		
事業概要	令和 9 年度を目途とした部活動の地域展開に向け、令和 6 年度から試験的に民間事業者へ委託している部活動（卓球）に加え、さらに部活動（サッカー）を地域団体に委託します。		
担当	教育指導グループ	予算額	9,914 千円

事業名	第七小学校施設環境改善事業		
事業概要	学級編制基準の一律引き下げによる段階的な 3 5 人学級への移行、また住宅開発に伴う児童数の増加により、今後、第七小学校では普通教室の不足が見込まれることから、普通教室を増設するとともに、必要となる通信ネットワーク環境等を整備します。		
担当	教育政策グループ、教育指導グループ	予算額	215,180 千円

事業名	大阪・関西万博事業（子ども万博会場無料招待）		
事業概要	大阪・関西万博が、未来を担う子どもたちにとって未来社会の革新的な技術やサービスを直に体験できる機会となるよう、大阪府と連携し、4 歳から 17 歳までの市内在住の子どもたちを無料招待※します。また、学校行事における参加では、児童・生徒がより安全で円滑に会場へ訪れることができるよう、貸切バスを手配し、その費用は市が全額負担します。 ※希望者の申請に基づく入場チケットの配布		
担当	企画・情報政策グループ、教育指導グループ	予算額	51,562 千円

事業名	地域学校協働活動事業		
事業概要	地域と学校の連携・協働を効果的に進めるため、「地域学校協働活動推進員」の配置体制を強化し、地域学校協働活動の充実、コミュニティ・スクールとの連携を進め、地域全体で子どもたちの成長を支える基盤づくりを推進します。		
担当	生涯学習グループ	予算額	12,993 千円

事業名	さやま元気っ推進事業		
事業概要	ボランティアや地域団体の協力を得ながら、放課後の子どもたちに、各小学校で、スポーツや文化活動等が体験できる遊び・交流・学習等の場を提供します。さやま元気っコーディネーターを配置し、放課後児童会事業や学習支援チューター事業とも連携しながら、安心して過ごせる居場所づくりを進めます。		
担当	生涯学習グループ	予算額	8,744 千円

事業名	子どもの居場所づくり推進事業		
事業概要	放課後や休日に、子どもたちを対象とした継続的な活動に取り組む団体を支援する「子どもの居場所づくり推進事業補助金」の活用を促進し、子どもたちが安心して過ごせる居場所の選択肢を増やします。		
担当	生涯学習グループ	予算額	1,250 千円

事業名	スポーツ施設長寿命化事業		
事業概要	市民がより安全で快適に利用できる施設をめざし、総合体育館においてはエレベーター改修工事を、市民総合グラウンド管理棟においては屋上防水工事をそれぞれ実施します。		
担当	生涯学習グループ	予算額	55,150 千円

事業名	狭山中学校円卓会議さやりんピック事業		
事業概要	身近な地域における活動機会の充実、地域住民のコミュニケーションづくりを進めるため、狭山中学校区で「さやりんピック」を開催します。		
担当	生涯学習グループ	予算額	1,239 千円

事業名	池守田中家保存活用事業		
事業概要	令和 6 年に史跡狭山池の附として追加指定された「池守田中家」の管理を行くことで、史跡の本質的価値を守り、貴重な歴史遺産の保存活用を進めます。		
担当	生涯学習グループ	予算額	385 千円

事業名	史料調査事業（池守田中家文書新出史料の調査）		
事業概要	主に狭山池の管理にかかわった池守田中家で実施した文化財調査で見つかった近世から近代の古文書を中心とする新出史料の適切な保存活用及び詳細な資料調査を実施するとともに、調査結果をまとめ、報告書を刊行します。		
担当	生涯学習グループ	予算額	6,801 千円

事業名	狭山池魅力発見事業（狭山池シンポジウム）		
事業概要	日本最古のため池である狭山池の文化遺産としての価値を再認識するとともに、市のシンボルである狭山池をはじめとする市内の歴史文化遺産の魅力を広く市内外に発信するために「狭山池シンポジウム」を開催します。		
担当	生涯学習グループ	予算額	3,179 千円